

(1) 北海道大学：ダッシュボード概要

北海道大学はダッシュボードの情報量が多く、可視化項目が豊富であり、細かい属性ごとに可視化されていることから、本件の参考になると考え調査対象として選定した。

ダッシュボード名称	設置区分	概要	URL	BIツール	活用しているオープンデータ等
北海道大学ファクトブック 【学外版】	国立	総合IR本部が学内向けに作成しているファクトブック	https://ir.general.hokudai.ac.jp/reports/r04factbook.html	Power BI	大学基本情報、 文科省公表データ（科研費）

凡例 ○：事例有、△一部事例有、－：事例無

	可視化項目	事例の有無
①	所属教員数及び所属教員比率	○
②	研究者の受入人数（学外所属別及び区分別）	－
③	共同利用・共同研究の採択状況	－
④	共同利用・共同研究を活用して発表された論文数及び分野別論文比率	△
⑤	科学研究費等の採択状況（採択金額及び採択件数）	○
⑥	民間との共同研究実施状況（金額及び件数）	○
⑦	受託研究実施状況（金額及び件数）	○
⑧	財務情報（決算額等）	○
⑨	国際交流状況	○
⑩	学生受入状況（大学院生受入数、留学生受入数）	○
⑪	シンポジウム等の実施状況	－
⑫	施設・設備の利用状況	○
⑬	資料の利用・提供・整備状況	○
⑭	研究用データ等の作成・公開状況	－

共同利用・共同研究拠点：認定あり

【単独型】

遺伝子病制御研究所
人獣共通感染症国際共同研究所
スラブ・ユーラシア研究センター
低温科学研究所

【拠点ネットワーク】

学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点：情報基盤センター
物質・デバイス領域共同研究拠点：電子科学研究所
触媒科学計測共同研究拠点：触媒科学研究所

(2) 北海道大学：ダッシュボードの特徴 1/3

北海道大学ファクトブック【学外版】の特徴は、ダイジェスト版と概要版のダッシュボードを作成・公開している点である。ダイジェスト版では、入学状況、学生数、教員数、国際交流、論文、科研費、共同・受託研究のそれぞれの概要が掴めるようになっている。概要版は、北海道大学に関する様々な数値のサマリーが可視化されており、大学の大きなプロファイルが分かるようになっている。（詳細については次頁参照）

目次

ダイジェスト

概要

教育

国際

研究

産学官連携

教職員

財務

病院

施設

ダイジェスト



A > 入学状況



B > 学生数



C > 教員数



D > 国際交流



E > 論文



F > 科研費



G > 共同・受託研究

概要



1 > 概要

(2) 北海道大学：ダッシュボードの特徴 2/3

概要版のダッシュボードの1ページ目では、各年度ごと※の(1)学生数、(2)教職員数、(3)総論文数、(4)Top10%論文数、(5)国際共著論文数及び比率、(6)外部資金獲得額合計、(7)外部資金獲得額、(8)経常収益、(9)経常費用が可視化されている。この1ページで教育、研究、財務に関するデータが概観できるようになっている。 ※論文については、発行年ごとまた、(1)学生数では課程を、(2)教職員数では職種を、(6)外部資金獲得額合計と(7)外部資金獲得額では、外部資金の種別を選択して、表示するデータを絞り込むことができる。



(2) 北海道大学：ダッシュボードの特徴 3/3

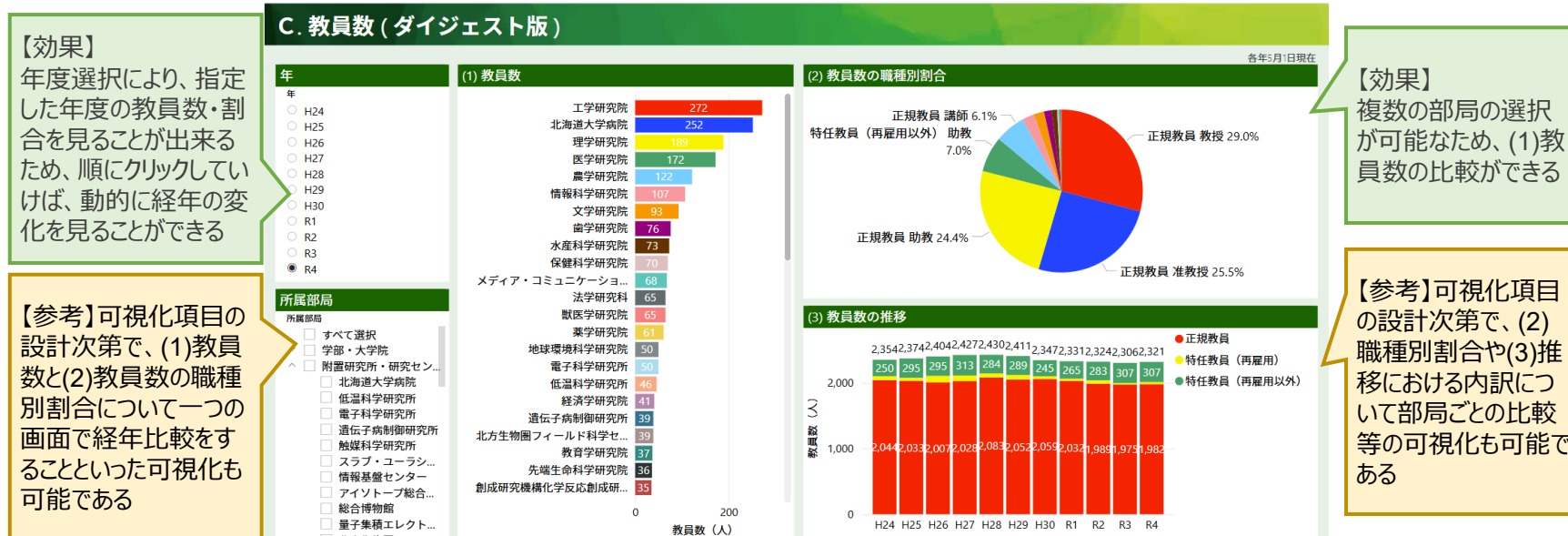
概要版ダッシュボードの2ページ目では、大学ランキングに関する可視化を行っている。様々な世界大学ランキングの直近の順位を表示している。複数の大学ランキングについて積極的に情報発信を行っている点は、他の国内大学ではほとんど見られず、北海道大学ファクトブック【学外版】の特徴の一つであると言える。

1-2. 大学ランキング				← ↶ ↷ →								
THE World University Rankings				全体順位								
年	北海道大学 大学名	501-600 全体順位	7 国内順位	年	THE World University Rankings	QS World University Rankings	Nature Index Top Academic Institutions	ShanghaiRank ing Academic Ranking of World Universities	THE Impact Rankings	THE Asia University Rankings	QS Asia University Rankings	THE Japan University Rankings
2023	北海道大学	501-600	7	2016	401-500					49		
年	大学名	全体順位	国内順位	2017	401-500			151-200		58		
QS World University Rankings				2018	401-500	122	95	151-200		55	31	6
2023	北海道大学	141	8	2019	401-500	128	102	151-200	101-200	68	29	5
年	大学名	全体順位	国内順位	2020	401-500	132	111	151-200	76	96	29	6
Nature Index Top Academic Institutions				2021	501-600	139	114	151-200	101-200	98	29	6
2022	北海道大学	110	7	2022	501-600	145	110	201-300	10	119	30	6
年	大学名	全体順位	国内順位	2023	501-600	141					29	
ShanghaiRanking Academic Ranking of World Universities												
2022	北海道大学	201-300	7	国内順位								
年	大学名	全体順位	国内順位	年	THE World University Rankings	QS World University Rankings	Nature Index Top Academic Institutions	ShanghaiRank ing Academic Ranking of World Universities	THE Impact Rankings	THE Asia University Rankings	QS Asia University Rankings	THE Japan University Rankings
THE Impact Rankings				2016	7					9		
2022	北海道大学	10	1	2017	9			6		11		
年	大学名	全体順位	国内順位	2018	8	7	7	6		8	8	6
THE Asia University Rankings				2019	7	8	7	6		9	7	5
2022	北海道大学	119	12	2020	8	7	7	5	4	14	7	6
年	大学名	全体順位	国内順位	2021	11	8	7	5	1	11	6	6
QS Asia University Rankings				2022	9	8	7	7	1	12	8	6
2023	北海道大学	29	7	2023	7	8					7	
年	大学名	全体順位	国内順位									
THE Japan University Rankings												
2022	北海道大学	6	6									
年	大学名	全体順位	国内順位									

(3) 北海道大学：可視化項目① 1/4

所属教員数については、ダイジェスト版のダッシュボードを作成し概要を掴めるようにしている。比率については、雇用形態（正規職員か特任職員か）に加え、職種別・再雇用といった観点に着目して可視化されている。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法		元データ
所属部局別教員数	・ 所属部局別の教員数を可視化	年度別 所属部局別	棒グラフ（横）	学内データ
教員数の職種別割合	・ 雇用形態と職種について、下記の区分ごとの割合を可視化 ・ 雇用形態：正規教員／特任教員（再雇用）／特任教員（再雇用以外） ・ 職種：教授／准教授／助教／講師	年度別 所属部局別	円グラフ	学内データ
教員数の推移	・ 教員数の推移について、正規教員／特任教員（再雇用）／特任教員（再雇用以外）の内訳を可視化	所属部局別	棒グラフ（縦）	学内データ



(3) 北海道大学：可視化項目① 2/4

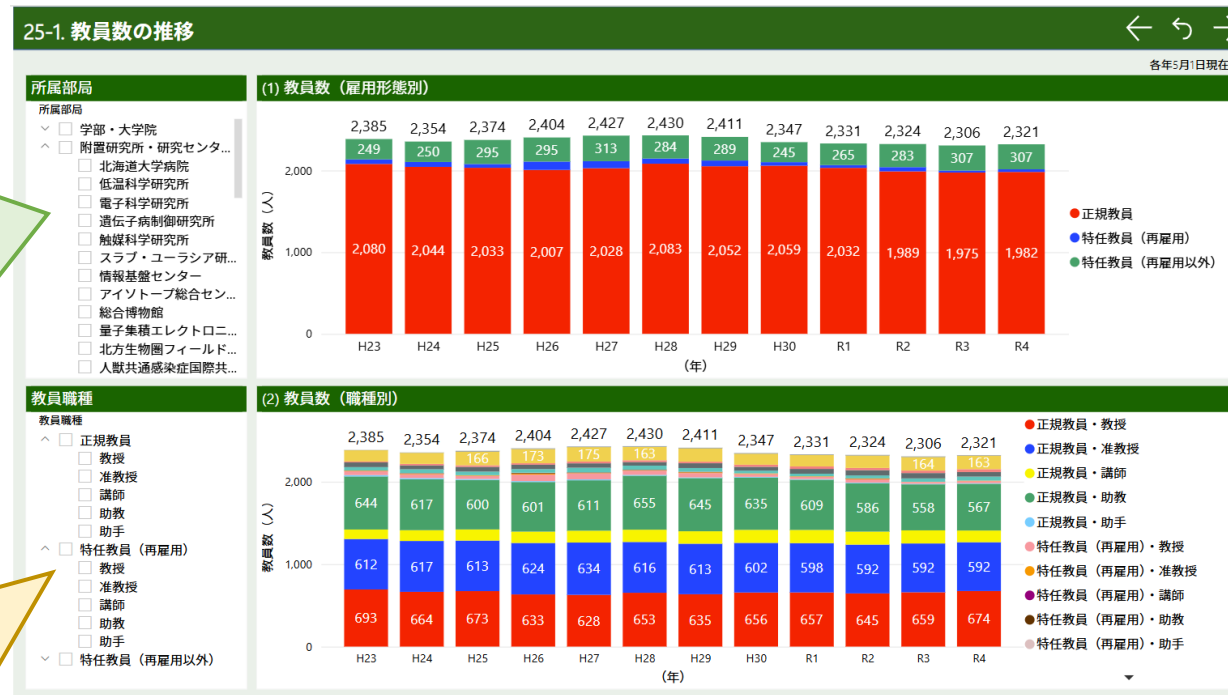
所属教員に関する詳細版のダッシュボードの1ページ目では、雇用形態別、職種別の切り口でそれぞれ経年推移を可視化している。詳細版では、所属部局と職種を選択して任意の範囲のデータを表示することができる。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
教員数（雇用形態別）	雇用形態別の教員数の推移について、内訳を可視化	所属部局別 職種別	棒グラフ（縦） 学内データ
教員数（職種別）	職種別の教員数の推移について、内訳を可視化	所属部局別 職種別	棒グラフ（縦） 学内データ

【効果】

部局ごとの詳細な雇用形態別・職種別の推移を表示できるため、ダイジェスト版では見ることが出来なかった経年比較ができる

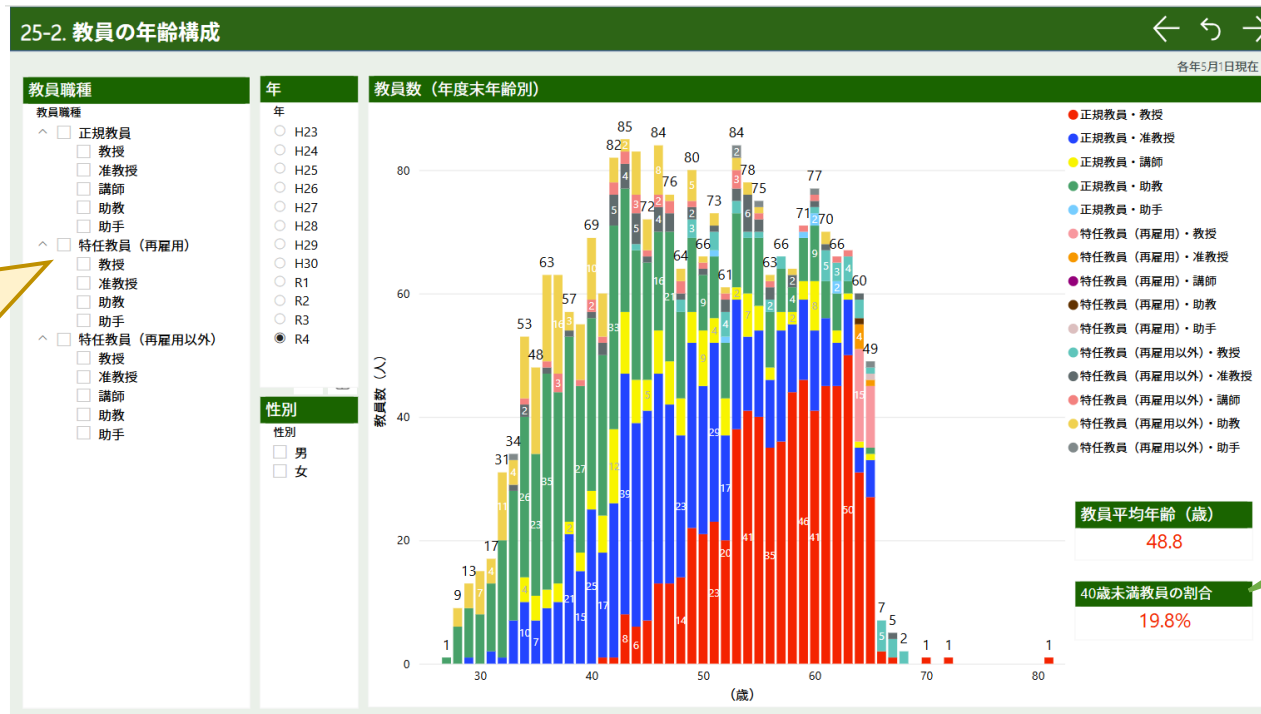
【参考】可視化項目の設計次第で、実数についての経年推移に加え、割合（パーセンテージ）の変化等の可視化も可能である



(3) 北海道大学：可視化項目① 3/4

所属教員数に関する詳細版のダッシュボードの2ページ目では、年齢構成に関する可視化を行っている。棒グラフだけでは表現できないものの、経営上モニタリングが必要となる情報については、別途、数値でデータを表現するなどの工夫がなされている。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法		元データ
教員数（年度末年齢別）	・ 年齢別に教員職種別の内訳を可視化	職種別	棒グラフ（縦）	学内データ
教員平均年齢（歳）	・ 選択した表示範囲における教員の平均年齢を可視化	年度別	数値	学内データ
40歳未満教員の割合	・ 選択した表示範囲における40歳未満教員（若手教員）の割合を可視化	性別	数値	学内データ



【参考】可視化項目の設計次第で、一つの画面で経年比較をするといった可視化も可能である

【効果】棒グラフのみでは表現しきれない平均値、割合について情報を補足している

25-3. 外国人教員数・外国人教員比率の推移

各年3月1日現在

所属部署

所属部署

- ☒ 学部・大学院
- ☒ 附属研究所・研究センター

性別

性別

- ☒ 男
- ☒ 女

教員職種

教員職種

- ☒ 正規教員
- ☒ 特任教員（再雇用）
- ☒ 特任教員（再雇用以外）

(1) 外国人教員数

年	正規教員	正規教員（再雇用）	正規教員（再雇用以外）	正規教員・助教	特任教員（再雇用）	特任教員（再雇用以外）	特任教員（再雇用以外）・助教	合計
H23	16	18	23	20	19	79		
H24	17	20	19	26	18	83		
H25	18	26	18	22	94			
H26	18	33	22	34	104			
H27	18	34	25	53	117			
H28	15	27	29	68	147			
H29	18	28	15	77	180			
H30	23	30	25	82	177			
R1	34	32	30	78	200			
R2	26	33	34	68	193			
R3	21	37	34	70	185			
R4	31	37	34	70	208			

(2) 外国人教員比率

年	外国人教員比率
H23	3.3%
H24	3.5%
H25	4.0%
H26	4.3%
H27	4.8%
H28	6.0%
H29	7.5%
H30	7.5%
R1	8.6%
R2	8.3%
R3	8.0%

25-4.

所属部署

所属部署

- ☒ 学部・大学院
- ☒ 附属研究所・研究センター

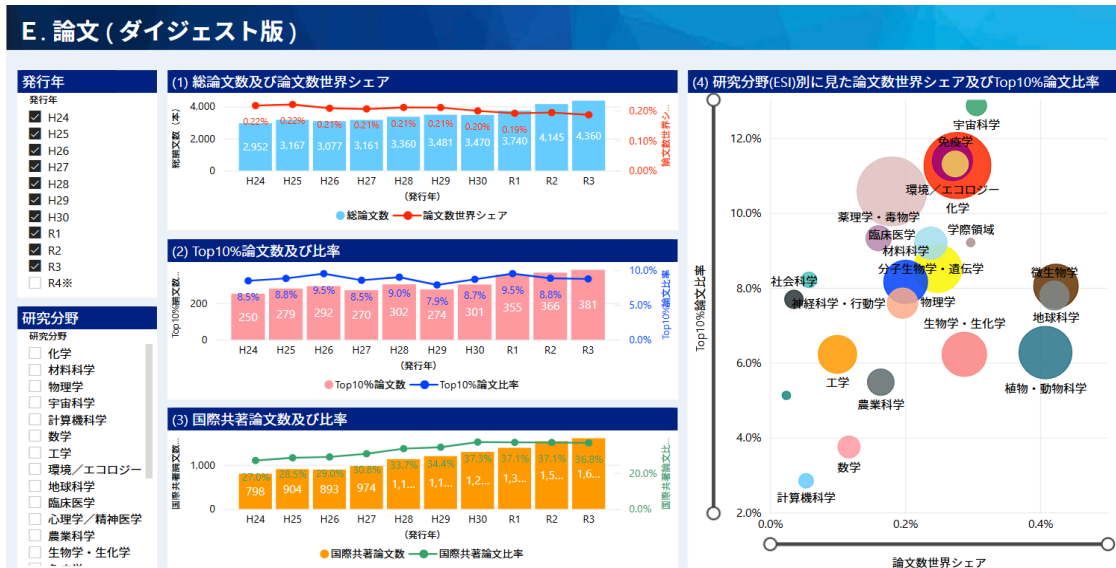
25-4. 教員の北海道大学在学経験		令和5年1月1日現在																																																																														
所属部署 ☐ 所属部署 ☒ 学部・大学院 ☒ 附属研究所・研究センター	年 ☐ H23 ☐ H24 ☐ H25 ☐ H26 ☐ H27 ☐ H28 ☐ H29 ☐ H30 ☐ R1 ☐ R2 ☐ R3 ☒ R4	(1) 北海道大学在学経験者数（部署別） <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>学部・大学院</th> <th>附属研究所・研究センター</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>93</td><td>65</td><td>158</td></tr> <tr><td>H24</td><td>65</td><td>27</td><td>92</td></tr> <tr><td>H25</td><td>41</td><td>52</td><td>93</td></tr> <tr><td>H26</td><td>120</td><td>76</td><td>196</td></tr> <tr><td>H27</td><td>64</td><td>50</td><td>114</td></tr> <tr><td>H28</td><td>65</td><td>46</td><td>111</td></tr> <tr><td>H29</td><td>107</td><td>61</td><td>168</td></tr> <tr><td>H30</td><td>8</td><td>0</td><td>8</td></tr> <tr><td>R1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>R3</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>R4</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	年	学部・大学院	附属研究所・研究センター	合計	H23	93	65	158	H24	65	27	92	H25	41	52	93	H26	120	76	196	H27	64	50	114	H28	65	46	111	H29	107	61	168	H30	8	0	8	R1	0	0	0	R2	0	0	0	R3	0	0	0	R4	0	0	0	(3) 北海道大学在学経験者数の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>経験者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>1,346</td></tr> <tr><td>H24</td><td>1,307</td></tr> <tr><td>H25</td><td>1,281</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1,309</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,293</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,266</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,260</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,245</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1,236</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,242</td></tr> </tbody> </table>	年	経験者数	H23	1,346	H24	1,307	H25	1,281	H26	1,309	H27	1,293	H28	1,266	H29	1,260	H30	1,245	R1	1,236	R2	1,242			
年	学部・大学院	附属研究所・研究センター	合計																																																																													
H23	93	65	158																																																																													
H24	65	27	92																																																																													
H25	41	52	93																																																																													
H26	120	76	196																																																																													
H27	64	50	114																																																																													
H28	65	46	111																																																																													
H29	107	61	168																																																																													
H30	8	0	8																																																																													
R1	0	0	0																																																																													
R2	0	0	0																																																																													
R3	0	0	0																																																																													
R4	0	0	0																																																																													
年	経験者数																																																																															
H23	1,346																																																																															
H24	1,307																																																																															
H25	1,281																																																																															
H26	1,309																																																																															
H27	1,293																																																																															
H28	1,266																																																																															
H29	1,260																																																																															
H30	1,245																																																																															
R1	1,236																																																																															
R2	1,242																																																																															
教員職種 ☒ 正規教員 ☐ 特任教員（再雇用） ☒ 特任教員（再雇用以外）	(2) 北海道大学在学経験者比率（部署別） <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>学部・大学院</th> <th>附属研究所・研究センター</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>69.9%</td><td>30.1%</td><td>69.9%</td></tr> <tr><td>H24</td><td>56.9%</td><td>43.1%</td><td>56.9%</td></tr> <tr><td>H25</td><td>48.3%</td><td>51.7%</td><td>48.3%</td></tr> <tr><td>H26</td><td>68.8%</td><td>31.2%</td><td>68.8%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>84.2%</td><td>15.8%</td><td>84.2%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>76.9%</td><td>23.1%</td><td>76.9%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>57.0%</td><td>43.0%</td><td>57.0%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>87.5%</td><td>12.5%</td><td>87.5%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr> </tbody> </table>	年	学部・大学院	附属研究所・研究センター	合計	H23	69.9%	30.1%	69.9%	H24	56.9%	43.1%	56.9%	H25	48.3%	51.7%	48.3%	H26	68.8%	31.2%	68.8%	H27	84.2%	15.8%	84.2%	H28	76.9%	23.1%	76.9%	H29	57.0%	43.0%	57.0%	H30	87.5%	12.5%	87.5%	R1	0.0%	0.0%	0.0%	R2	0.0%	0.0%	0.0%	R3	0.0%	0.0%	0.0%	R4	0.0%	0.0%	0.0%	(4) 北海道大学在学経験者率の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>経験者率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>56.4%</td></tr> <tr><td>H24</td><td>55.5%</td></tr> <tr><td>H25</td><td>54.0%</td></tr> <tr><td>H26</td><td>54.5%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>53.3%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>52.1%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>53.0%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>53.3%</td></tr> <tr><td>R1</td><td>53.0%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>53.0%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>53.0%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>53.0%</td></tr> </tbody> </table>	年	経験者率	H23	56.4%	H24	55.5%	H25	54.0%	H26	54.5%	H27	53.3%	H28	52.1%	H29	53.0%	H30	53.3%	R1	53.0%	R2	53.0%	R3	53.0%	R4	53.0%
年	学部・大学院	附属研究所・研究センター	合計																																																																													
H23	69.9%	30.1%	69.9%																																																																													
H24	56.9%	43.1%	56.9%																																																																													
H25	48.3%	51.7%	48.3%																																																																													
H26	68.8%	31.2%	68.8%																																																																													
H27	84.2%	15.8%	84.2%																																																																													
H28	76.9%	23.1%	76.9%																																																																													
H29	57.0%	43.0%	57.0%																																																																													
H30	87.5%	12.5%	87.5%																																																																													
R1	0.0%	0.0%	0.0%																																																																													
R2	0.0%	0.0%	0.0%																																																																													
R3	0.0%	0.0%	0.0%																																																																													
R4	0.0%	0.0%	0.0%																																																																													
年	経験者率																																																																															
H23	56.4%																																																																															
H24	55.5%																																																																															
H25	54.0%																																																																															
H26	54.5%																																																																															
H27	53.3%																																																																															
H28	52.1%																																																																															
H29	53.0%																																																																															
H30	53.3%																																																																															
R1	53.0%																																																																															
R2	53.0%																																																																															
R3	53.0%																																																																															
R4	53.0%																																																																															

(4) 北海道大学：可視化項目④ 1/4

共同利用・共同研究を活用して発表された論文数及び分野別論文比率についてのダッシュボードは公開されていないため、本件への応用を検討する事例として、論文数に関するダッシュボード事例を取り上げる。

論文数に関するダッシュボードは、ダイジェスト版と詳細版が公開されているが、ダイジェスト版に掲載されているグラフは、詳細版からの抜粋となっている。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法	
総論文数及び論文数世界シェア	・ 総論文数と論文数の世界シェアの推移について可視化	発行年 研究分野	棒グラフ（縦） 折れ線グラフ
Top10%論文数及び比率	・ Top10%論文数とTop10%論文比率の推移について可視化		
国際共著論文数及び比率	・ 国際共著論文数とその比率の推移について可視化		
研究分野(ESI)別に見た論文数世界シェア及びTop10%論文比率	・ 研究分野別の論文数をバブルの大きさと可視化し、縦軸をTop10%論文比率、横軸を論文数の世界シェアで可視化		バブルチャート



出典 北海道大学ファクトブック【学外版】 <https://ir.general.hokudai.ac.jp/reports/r04factbook.html>

(4) 北海道大学：可視化項目④ 2/4

論文数に関する詳細版のダッシュボードの1ページ目では、ダイジェスト版で掲載されていた論文数と比率の発行年ごとの推移を表示するグラフに加えて、研究分野別に分析した結果が掲載されている。

(ダッシュボード画面、効果・課題については次頁参照)

可視化項目	情報発信の内容	表示方法	
総論文数及び論文数世界シェア Top10%論文数及び比率 国際共著論文数及び比率	- 総論文数と論文数の世界シェアの推移について可視化 - Top10%論文数とTop10%論文比率の推移について可視化 - 国際共著論文数とその比率の推移について可視化	発行年 研究分野	棒グラフ（縦） 折れ線グラフ
総論文数の研究分野別割合 Top10%論文数の研究分野別割合 国際共著論文数の研究分野別割合	- 総論文数の研究分野別の割合について可視化 - Top10%論文数の研究分野別の割合について可視化 - 国際共著論文数の研究分野別の割合について可視化		円グラフ
研究分野別の論文数世界シェア 研究分野別のTop10%論文比率 研究分野別の国際共著論文比率	- 論文数世界シェアを研究分野別に可視化 - Top10%論文比率を研究分野別に可視化 - 国際共著論文比率を研究分野別に可視化		棒グラフ（横） ※比率が高い順に表示

(研究分野の設定について)

研究分野については、ESIの対象となっている22分野を可視化している。ESI（Essential Science Indicators）とは、『Web of Science』のデータを基に作成したデータベースであり、世界レベルでの分野ごとの研究業績評価に活用されている。主要な学術ジャーナル過去10年の論文データを対象に、研究者、論文、研究機関、国等のランキング情報や、論文評価のための分野別のベンチマーク指標などを提供している。

(4) 北海道大学：可視化項目④ 3/4

論文数の研究分野別の可視化では、北海道大学において論文（アウトプット）が多い分野が分かる。一方で、比率の研究分野別の可視化では、北海道大学の強みとなる研究分野を推察することができる。数が多い分野が、必ずしも比率が高い研究分野の上位に来ているわけではなく、論文の量だけでなく質や厚みも意識した可視化を行っていると考えられる。

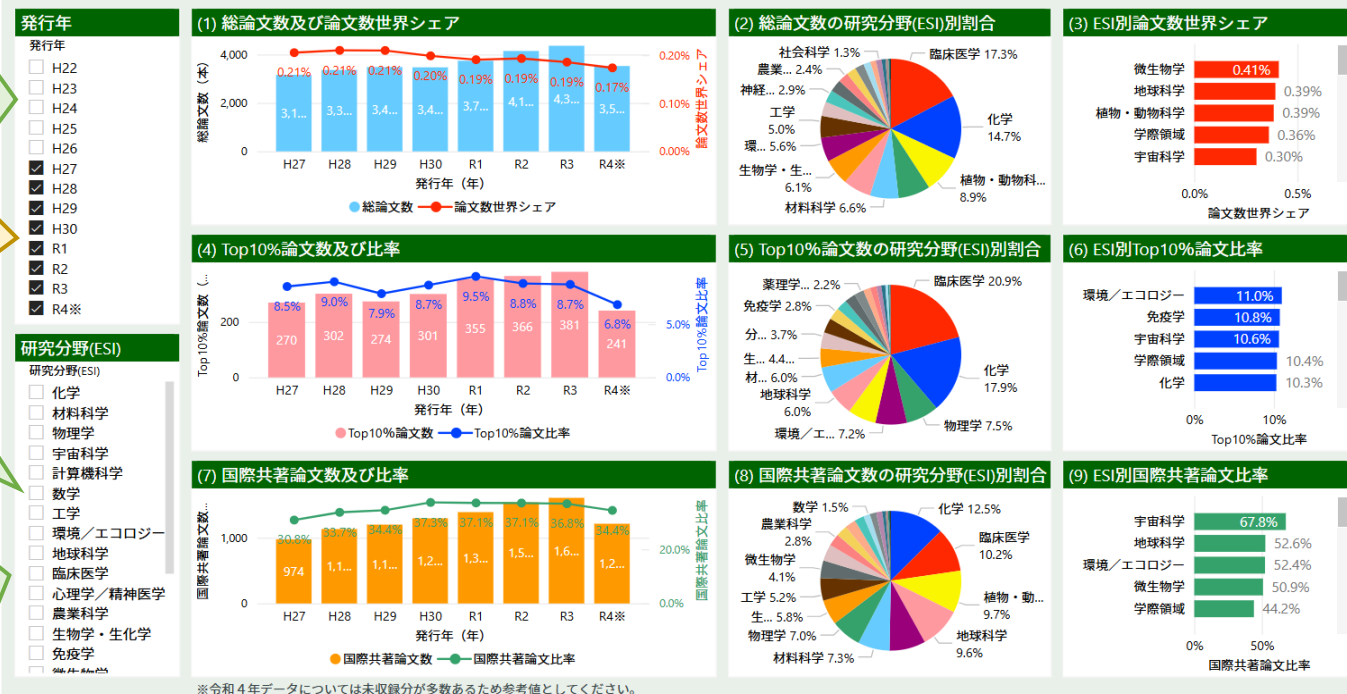
【効果】研究分野別の表示内容は、選択している発行年の全ての論文数の合計値から算出されるため、ニーズに応じて選択する発行年を変更することで、最新の比率や、過去複数年の合計値を柔軟に表示することができる。

【参考】可視化項目の設計次第で、分野別の比率の推移（変化）を一つの画面で見るといった可視化も可能である。

【効果】分野を指定すると、各分野の論文数と比率の経年の推移を見ることができる

【効果】分野を選択すると、円グラフについては選択した範囲での比率表示となるため、学際領域等の特定の分野を除いた比率、または、学系（文系・理系・医系）内での比率など、ニーズに応じて柔軟に表示することができる。

15-1. 総論文数、Top10%論文数及び国際共著論文数

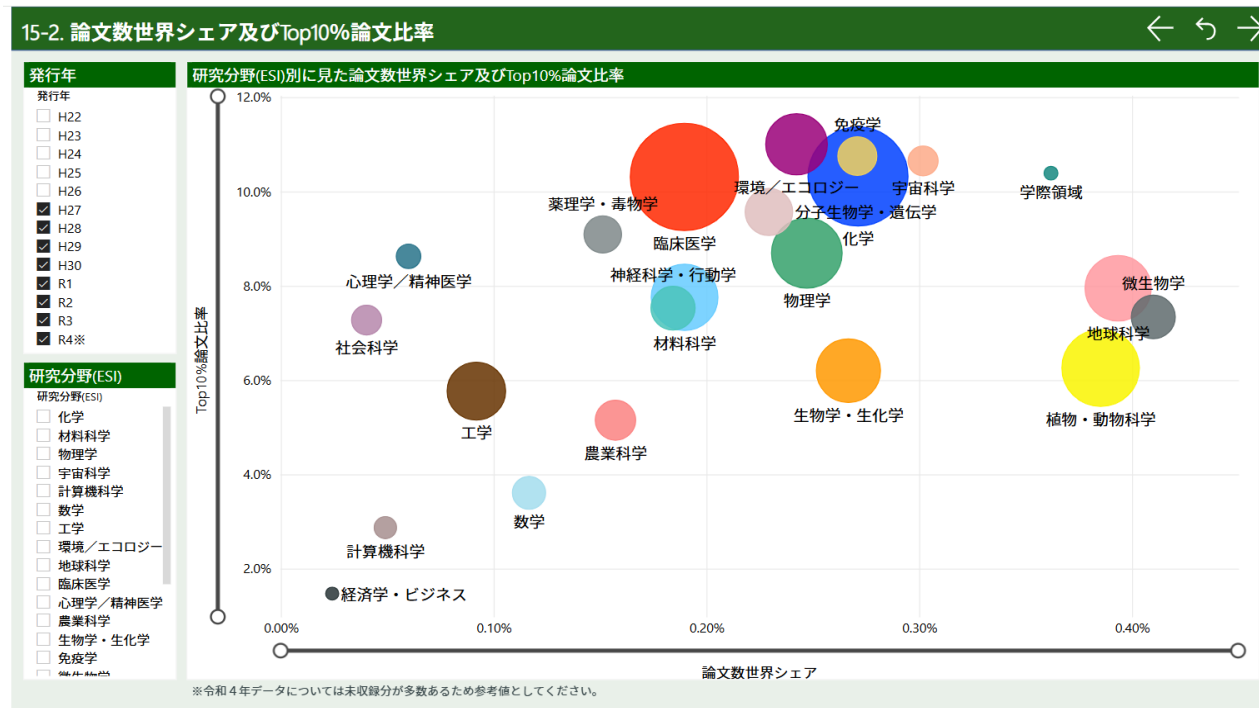


出典 北海道大学ファクトブック【学外版】 <https://ir.general.hokudai.ac.jp/reports/r04factbook.html>

(4) 北海道大学：可視化項目④ 4/4

論文数に関する詳細版のダッシュボードの2ページ目では、バブルチャートを用いて、論文数と比率を1つのグラフに可視化している。発行年の指定（絞り込み）により、一定時点、あるいは一定の期間における論文の量と質や厚みの関係性を分析するのに有効であると考えられる。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法		元データ
研究分野(ESI)別に見た論文数世界シェア及びTop10%論文比率	研究分野別の論文数をバブルの大きさと可視化し、縦軸をTop10%論文比率、横軸を論文数の世界シェアで可視化	発行年 研究分野	バブルチャート	InCites Dataset



(5) 北海道大学：可視化項目⑤ 1/4

科研費に関するダッシュボードは、ダイジェスト版と詳細版が公開されているが、ダイジェスト版に掲載されているグラフのうち、(1)受入件数及び受入額、(2)新規採択件数及び新規採択率の推移は、詳細版からの抜粋となっている。(3)新規採択件数（H30～R4）中区分別順位については、ダイジェスト版ではH30～R4の実績によるランキングを、詳細版では過去5年累計のランキングを可視化している。（詳細版については次頁以降参照）

可視化項目	情報発信の内容	表示方法		元データ
受入件数及び受入額	- 受入額について、直接経費と間接経費の内訳を表示して経年の推移を可視化 - 受入件数について、折れ線グラフで経年の推移を可視化	年度別	棒グラフ（縦）	学内データ
新規採択件数及び新規採択率の推移	- 新規応募件数・新規採択件数についてそれぞれの経年の推移を可視化 - 新規採択率について、折れ線グラフで経年の推移を可視化	研究種目別	折れ線グラフ	
新規採択件数 中区分別順位	H30～R4年度の実績データについて、審査区分（中区分）ごとの新規採択件数をランキングを可視化	年度別	棒グラフ（縦）	文部科学省 公表データ
		研究種目別	折れ線グラフ	
		—	テーブル (順位：ヒートマップ)	

F. 科研費（ダイジェスト版）



【効果】

順位（ランキング）によるソートだけでなく、区分ごとのソートも可能なため、区分ごとの概況を掴むことができる

【参考】出典の文部科学省「科学研究費助成事業の配分について」よりデータを追加をすることで件数および採択率についても可視化が可能である

(5) 北海道大学：可視化項目⑤ 2/4

科研費に関する詳細版のダッシュボードの1ページ目では、ダイジェスト版で掲載されていた受入件数及び受入額を表示するグラフに加えて、受入件数と受入額について研究種目別の割合をそれぞれに表示したグラフが掲載されている。受入件数の研究種目の割合からは、大学としてどのような段階（ステージ）の研究が多いかを推察できる。また、受入額の研究種目の割合からは、どの段階（ステージ）の研究が大学の外部資金収入の核となっているのかを推察することができる。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法		元データ
受入件数及び受入額	- 受入額について、直接経費と間接経費の内訳を表示して経年の推移を可視化 - 受入件数について、折れ線グラフで経年の推移を可視化	年度別 研究種目別	棒グラフ（縦） 折れ線グラフ	学内データ
受入件数の研究種目別割合	受入件数について、研究種目別の割合を可視化	年度別	円グラフ	
受入額の研究種目別割合	受入額について、研究種目別の割合を可視化			

【効果】

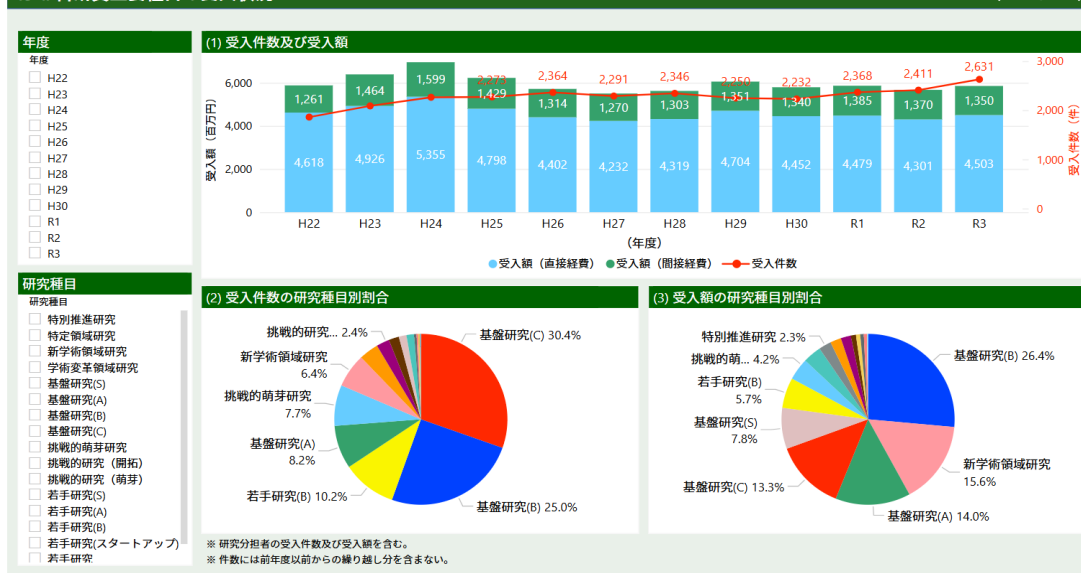
直接経費と間接経費を分けて表示することで、外部資金としての科研費が大学の運営資金にもなっていることや、大学としてその事実を意識していることが読み取れる

【効果】

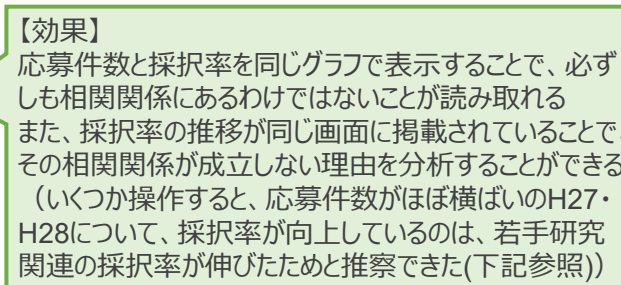
受入件数と受入額を同じグラフ上で表現することで、件数の増加が必ずしも金額の増加に繋がるわけではないことが読み取れる

【参考】可視化項目の設計次第で、研究種目別に割合の経年の推移を1度に比較するといった可視化も可能である。それにより、どの種目が伸びているか等を把握することができる

16-1 科研費主要種目の受入状況



可視化項目	情報発信の内容	表示方法		元データ
新規採択件数及び新規採択率の推移	- 新規応募件数・新規採択件数についてそれぞれの経年の推移を可視化 - 新規採択率について、折れ線グラフで経年の推移を可視化	年度別 研究種目別	棒グラフ（縦） 折れ線グラフ	学内データ
新規採択件数の研究種目別割合	新規採択件数について、研究種目別の割合を可視化	年度別	円グラフ	
新規採択率の推移	新規採択率について、研究種目別の推移を可視化	年度別	折れ線グラフ	



(5) 北海道大学：可視化項目⑤ 4/4

科研費に関する詳細版のダッシュボードの3ページ目では、ダイジェスト版で掲載されていた新規採択件数の中区分別順位（過去5年累計）が掲載されている。詳細版では、ダイジェスト版と異なり、審査区分別（大区分・中区分）の絞り込み機能があり、特定の審査区分のみに絞り情報を表示させることが可能。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
新規採択件数 中区分別順位	過去5年累計の実績データについて、審査区分（中区分）ごとの新規採択件数をランキングを可視化	— テーブル (順位：ヒートマップ)	文部科学省公表データ

【効果】

審査区分別の絞り込み機能があり、大区分別、中区分別で絞り込むことが出来る。特定の分野における研究の進捗状況や成果を確認することが出来る（下記参照）

16-3. 新規採択件数（過去5年累計）中区分別順位

審査区分	大区分	中区分	大学名	順位
△ A	A	3: 歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野	北海道大学	10
□ B	A	4: 地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野	北海道大学	8
□ C	A	5: 法学およびその関連分野	北海道大学	2
□ D	A	6: 政治学およびその関連分野	北海道大学	9
□ E	B	11: 代数学、幾何学およびその関連分野	北海道大学	8
□ F	B	12: 解析学、応用数学およびその関連分野	北海道大学	8
□ G	B	13: 物性物理学およびその関連分野	北海道大学	7
□ H	B	17: 地球惑星科学およびその関連分野	北海道大学	5
□ I	C	19: 流体力学、熱工学およびその関連分野	北海道大学	9
□ J	C	21: 電気電子工学およびその関連分野	北海道大学	9
□ K	C	22: 土木工学およびその関連分野	北海道大学	4
□ L	C	25: 社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	北海道大学	8
□ M	D	26: 材料工学およびその関連分野	北海道大学	10
□ N	D	27: 化学工学およびその関連分野	北海道大学	8
□ O	D	28: ナノマイクロ科学およびその関連分野	北海道大学	6
□ P	D	29: 応用物理学およびその関連分野	北海道大学	10
□ Q	D	30: 応用物理工学およびその関連分野	北海道大学	8
□ R	D	31: 原子力工学、地球資源工学、エネルギーおよびその関連分野	北海道大学	6
□ S	E	32: 物理化学、機能性化学およびその関連分野	北海道大学	5
□ T	E	33: 有機化学およびその関連分野	北海道大学	5
□ U	E	34: 無機・錯体化学、分析化学およびその関連分野	北海道大学	8
□ V	E	35: 高分子、有機材料およびその関連分野	北海道大学	6
□ W	E	36: 無機材料化学、エネルギー関連化学およびその関連分野	北海道大学	8
□ X	E	37: 生体分子化学およびその関連分野	北海道大学	9
□ Y	F	38: 農薬化学およびその関連分野	北海道大学	8
□ Z	F	39: 生産環境農学およびその関連分野	北海道大学	6

審査区分

審査区分

- △ ☒ A
- 3: 歴史学、考古学、博物館学およびその...
- 4: 地理学、文化人類学、民俗学およびその...
- 5: 法学およびその関連分野
- 6: 政治学およびその関連分野
- △ ☐ B

令和4年度 科学研究費助成事業の新規採択件数（過去5年累計）中区分別順位

大区分	中区分	大学名	順位
A	5: 法学およびその関連分野	北海道大学	2
A	4: 地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野	北海道大学	8
A	6: 政治学およびその関連分野	北海道大学	9
A	3: 歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野	北海道大学	10

(6) 北海道大学：可視化項目⑥⑦ 1/3

民間との共同研究実施状況（金額及び件数）と受託研究実施状況（金額及び件数）に関するダッシュボードは、ダイジェスト版と詳細版が公開されているが、ダイジェスト版に掲載されているグラフのうち、(1)共同研究費 受入件数及び受入額、(2)共同研究費 受入額の相手先区分、(3)受託研究費 受入件数及び受入額、(4)受託研究費 受入額の相手先区分は、詳細版からの抜粋となっている。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
共同研究費 受入件数及び受入額	- 受入額について、経年の推移を可視化 - 受入件数について、折れ線グラフで経年の推移を可視化	年度別 相手先区分別	学内データ
共同研究費 受入額の相手先区分	受入額について、相手先区分別の割合を可視化		
受託研究費 受入件数及び受入額	- 受入額について、経年の推移を可視化 - 受入件数について、折れ線グラフで経年の推移を可視化		
受託研究費 受入額の相手先区分	受入額について、相手先区分別の割合を可視化		

【効果】

相手先区分を指定すると、相手先区分別の共同研究費・受託研究費の受入額の経年の推移を見ることができる

【効果】相手先区分を選択すると、円グラフの表示は選択した範囲での比率となるため、国内民間企業内だけの割合を表示するなどニーズに応じて柔軟に表示することができる

G. 共同・受託研究（ダイジェスト版）



(6) 北海道大学：可視化項目⑥⑦ 2/3

詳細版のダッシュボードの1ページ目では、ダイジェスト版で掲載されていた(1)共同研究費 受入件数及び受入額、(4)共同研究費 受入額の相手先区分を表示するグラフに加えて、(2)1件当たりの受入額、(3)受入件数の相手方先区分を表示したグラフが掲載されている。詳細版では、ダイジェスト版に加え、件数に特化した分析も行うことが可能。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
受入件数及び受入額	- 受入額について、経年の推移を可視化 - 受入件数について、折れ線グラフで経年の推移を可視化	年度別 相手方先区分別	学内データ
1件当たりの受入額	1件当たりの受入額について、折れ線グラフで経年の推移を可視化		
受入件数の相手方先区分	受入件数について、相手先区分別の割合を可視化		
受入額の相手方先区分	受入額について、相手先区分別の割合を可視化		

【効果】

相手先区分を指定すると、相手先区分別の共同研究費・受託研究費の受入額の経年の推移を見ることができる

【効果】

相手先区分を選択すると、円グラフの表示は選択した範囲での比率となるため、国内民間企業内だけの割合を表示するなどニーズに応じて柔軟に表示することができる



(6) 北海道大学：可視化項目⑥⑦ 3/3

詳細版のダッシュボードの2ページ目では、ダイジェスト版で掲載されていた(1)受託研究費 受入件数及び受入額、(4)受託研究費 受入額の相手先区分を表示するグラフに加えて、(2)1件当たりの受入額、(3)受入件数の相手方先区分を表示したグラフが掲載されている。詳細版では、ダイジェスト版に加え、件数に特化した分析も行うことが可能。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
受入件数及び受入額	- 受入額について、経年の推移を可視化 - 受入件数について、折れ線グラフで経年の推移を可視化	年度別 相手方先区分別	学内データ
1件当たりの受入額	1件当たりの受入額について、折れ線グラフで経年の推移を可視化		
受入件数の相手方先区分	受入件数について、相手先区分別の割合を可視化		
受入額の相手方先区分	受入額について、相手先区分別の割合を可視化		

【効果】

相手先区分を指定すると、相手先区分別の共同研究費・受託研究費の受入額の経年の推移を見ることができる

【効果】

相手先区分を選択すると、円グラフの表示は選択した範囲での比率となるため、国内民間企業内だけでの割合を表示するなどニーズに応じて柔軟に表示することができる

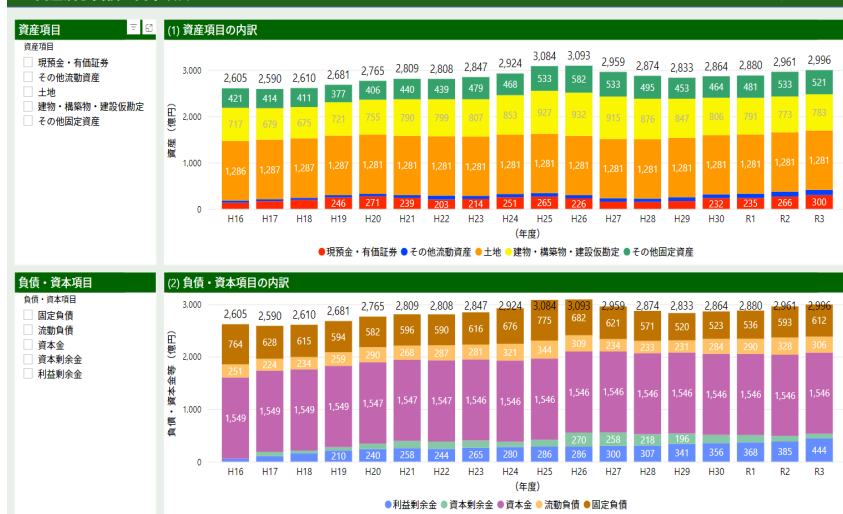


(7) 北海道大学：可視化項目⑧

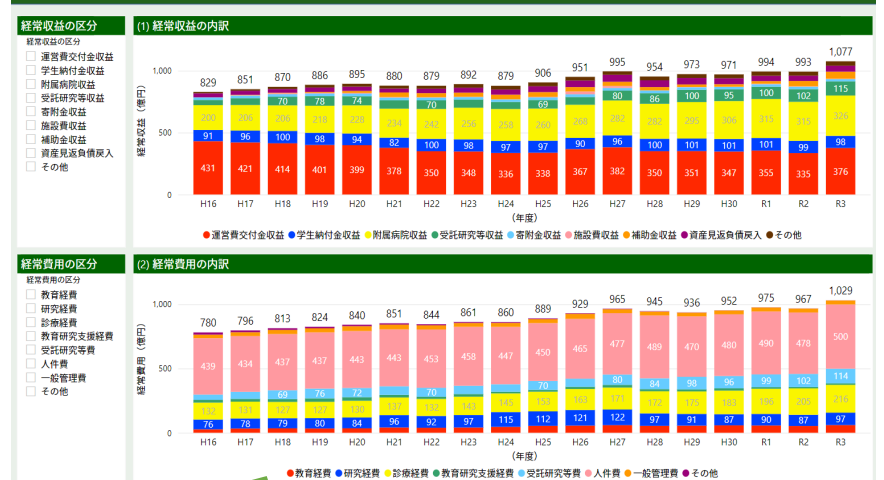
財務情報に関するダッシュボードは、ダイジェスト版には含まれておらず、詳細版のみの公開となっている。大学の財務基盤に関するダッシュボードと、運営状況に関するダッシュボードの2種類が公開されている。財務基盤に関しては(1)資産項目の内訳と、(2)負債・資本項目の内訳に関するグラフが表されている。運営状況に関しては、(1)経常収益の内訳と、(2)経常費用の内訳に関するグラフが表されている。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
資産項目の内訳	資産項目の内訳を表示して経年の推移を可視化	資産項目別	棒グラフ（縦） 学内データ
負債・資本項目の内訳	負債・資本項目の内訳を表示して経年の推移を可視化	負債・資本項目別	
経常収益の内訳	経常収益の内訳を表示して経年の推移を可視化	資産項目別	
経常費用の内訳	経常費用の内訳を表示して経年の推移を可視化	負債・資本項目別	

27. 資産及び負債・資本項目



28. 経常収益及び経常費用



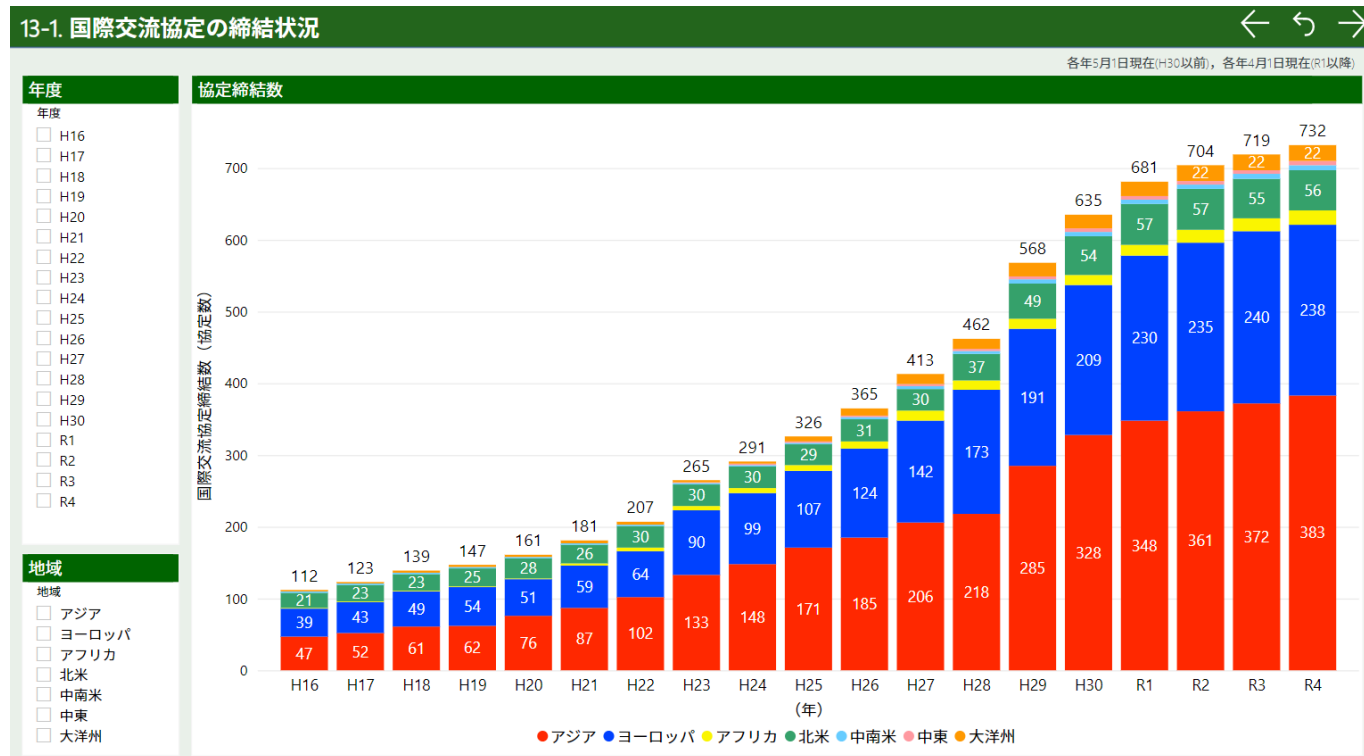
【効果】

特定の項目を選択して表示することで、他の項目の影響を排除し、選択した項目の経年変化をより明確に視覚化できる。これにより、データのトレンドやパターンを容易に把握することが可能

(8) 北海道大学：可視化項目⑨ 1/7

国際交流状況に関するダッシュボードは、ダイジェスト版には含まれておらず、詳細版のみの公開となっている。国際交流協定の締結状況や、研究者等交流状況に関するダッシュボードの7種類が公開されている。各ダッシュボードの可視化項目について下記に説明する。

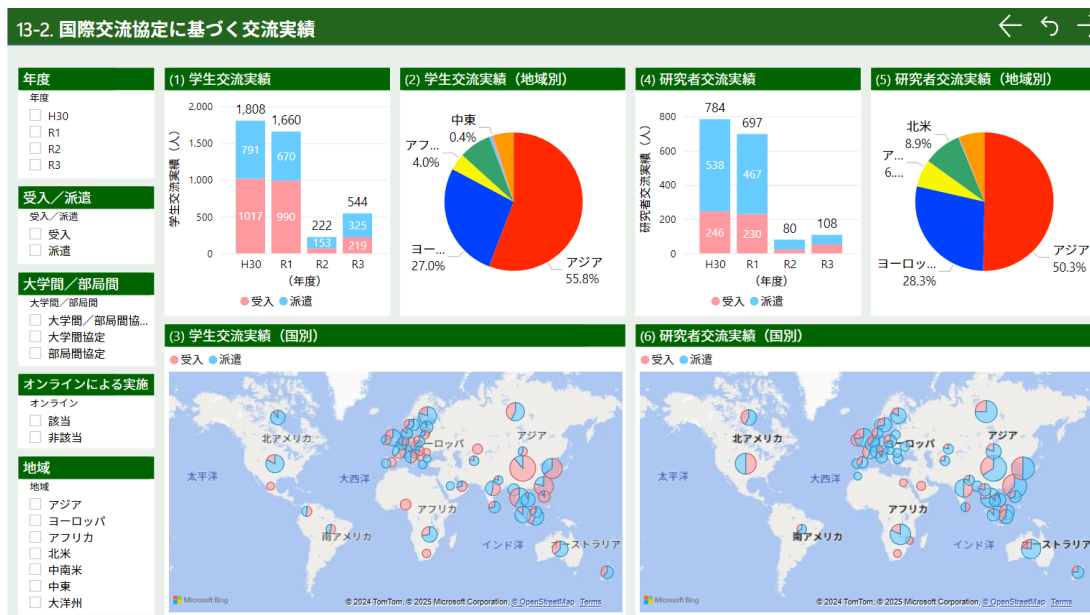
ダッシュボード名	可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
国際交流協定の締結状況	協定締結数	協定締結数について、地域別（アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北米、中南米、中東、大洋州）の内訳を表示して経年の推移を可視化	年度 地域別	棒グラフ (縦)



(8) 北海道大学：可視化項目⑨ 2/7

国際交流状況に関するダッシュボードは、ダイジェスト版には含まれておらず、詳細版のみの公開となっている。国際交流協定の締結状況や、研究者等交流状況に関するダッシュボードの7種類が公開されている。各ダッシュボードの可視化項目について下記に説明する。

ダッシュボード名	可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
国際交流協定に基づく交流実績	学生交流実績	・ 受入と派遣の内訳を表示して経年の推移を可視化	年度	学内データ
	学生交流実績(地域別)	・ 地域別の割合を可視化	受入・派遣別	
	学生交流実績(国別)	・ 国別に受入と派遣の内訳を円グラフで示し、世界地図上に可視化	大学間・部局間	
	研究者交流実績	・ 受入と派遣の内訳を表示して経年の推移を可視化	オンラインによる	
	研究者交流実績(地域別)	・ 地域別の割合を可視化	実施別	
	研究者交流実績(国別)	・ 国別に受入と派遣の内訳を円グラフで示し、世界地図上に可視化	地域別	



出典 北海道大学ファクトブック【学外版】 <https://ir.general.hokudai.ac.jp/reports/r04factbook.html>

(8) 北海道大学：可視化項目⑨ 3/7

国際交流状況に関するダッシュボードは、ダイジェスト版には含まれておらず、詳細版のみの公開となっている。国際交流協定の締結状況や、研究者等交流状況に関するダッシュボードの7種類が公開されている。各ダッシュボードの可視化項目について下記に説明する。

ダッシュボード名	可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
ダブル・ディグリー・プログラム※の実施状況	実施状況	実施状況について、部局、対象課程、相手大学の所在国、相手大学、先方における関係部局、プログラム覚書締結、区分、年度で可視化	学院等 区分 相手大学の所在国 相手大学	テーブル 学内データ

13-3. ダブル・ディグリー・プログラムの実施状況

令和4年10月1日現在

学院等	部局	対象課程	相手大学の所在国	相手大学	先方における関係部局	プログラム覚書締結	区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
学院等 ☐ 工学院 ☐ 工学院・情報科学研... ☐ 工学院・総合化科学院 ☐ 歯学研究科 ☐ 理学院 ☐ 環境科学院 ☐ 経済学院	工学院	博士・修士	ポーランド共和国	AGH科学技術大学		H22.7.6	受入	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	工学院	博士・修士	ポーランド共和国	AGH科学技術大学		H22.7.6	派遣	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総合化科学院	博士	ポーランド共和国	AGH科学技術大学		H23.11.22	受入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総合化科学院	博士	ポーランド共和国	AGH科学技術大学		H23.11.22	派遣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
区分 ☐ 受入 ☐ 派遣	工学院	修士	タイ王国	アジア工科大学	工学部	H23.3.17	受入	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	工学院	修士	タイ王国	アジア工科大学	工学部	H23.3.17	派遣	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
相手大学の所在国 ☐ イタリア ☐ インドネシア共和国 ☐ オーストラリア連邦 ☐ カザフスタン共和国 ☐ カナダ ☐ スウェーデン王国	理学院	博士	中華人民共和国	東北師範大学	数学と統計学院	H23.2.20	派遣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理学院	博士	中華人民共和国	東北師範大学	数学と統計学院	H23.2.20	受入	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	理学院	博士	中華人民共和国	東南大学	数学系	H23.3.9	派遣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理学院	博士	中華人民共和国	東南大学	数学系	H23.3.9	受入	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
相手大学 ☐ AGH科学技術大学 ☐ アジア工科大学 ☐ アルファラビ・カザフ... ☐ イェテボリ大学 ☐ インドネシア大学 ☐ オーフス大学	理学院	博士	カザフスタン共和国	アルファラビ・カザフ国立大学	理工学研究科	H24.2.29	派遣	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理学院	博士	カザフスタン共和国	アルファラビ・カザフ国立大学	理工学研究科	H24.2.29	受入	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	工学院・情報科学研究科	博士・修士	大韓民国	ソウル大学校工科大学		H23.7.31	受入	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	工学院・情報科学研究科	博士・修士	大韓民国	ソウル大学校工科大学		H23.7.31	派遣	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ダブル・ディグリープログラムとは、北海道大学と外国の大学との間で協定などを締結し、同じ学位レベルの教育プログラムを開設し、単位互換などを通じ、プログラム参加学生がそれぞれの大学の卒業・終了要件を満たした際に、当該学生に対し、各大学がそれぞれ学位を授与するプログラム。

(8) 北海道大学：可視化項目⑨ 4/7

国際交流状況に関するダッシュボードは、ダイジェスト版には含まれておらず、詳細版のみの公開となっている。国際交流協定の締結状況や、研究者等交流状況に関するダッシュボードの7種類が公開されている。各ダッシュボードの可視化項目について下記に説明する。

ダッシュボード名	可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
コチュテル・プログラム※の実施状況	実施状況	・ 実施状況について、部局、対象課程、相手大学の所在国、相手大学、先方における関係部局、プログラム覚書締結、区分、年度で可視化	学院等 区分 相手大学の所在国 相手大学 テーブル	学内データ

13-4. コチュテル・プログラムの実施状況

令和4年10月1日現在

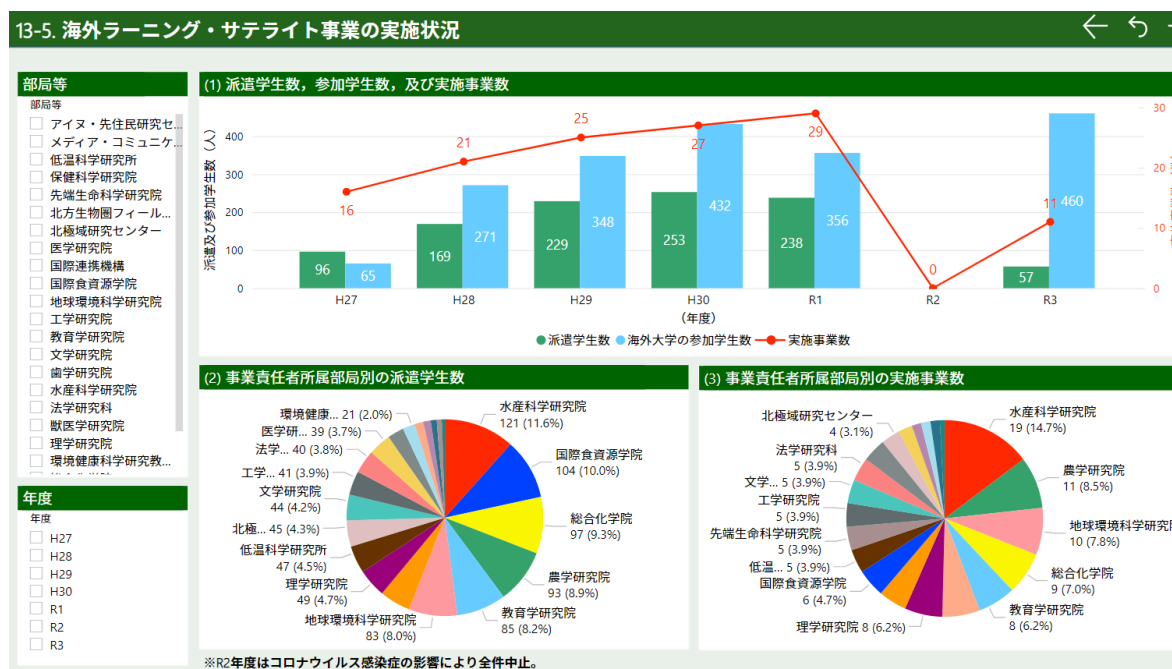
学院等	部局	対象課程	相手大学の所在国	相手大学	先方における関係部局	プログラム覚書締結	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
学院等 ☐ 医理工学院 ☐ 国際感染症学院 ☐ 工学院 ☐ 農学院 ☐ 水産学院 ☐ 獣医学院 ☐ 理学院	環境科学院	博士	中華人民共和国	厦門大学	地球科学・技術学部	H28.6.23	受入	0	0	0	0	0	0	0
	環境科学院	博士	中華人民共和国	厦門大学	地球科学・技術学部	H28.6.23	派遣	0	0	0	0	0	0	0
	農学院	博士	オーストラリア連邦	シドニー大学	農業環境学部	H28.8.23	受入	1	0	0	0	0	0	0
	農学院	博士	オーストラリア連邦	シドニー大学	農業環境学部	H28.8.23	派遣	0	0	0	0	0	0	0
	総合化学院	博士	台湾	国立台湾大学	工学院	H28.10.20	受入	0	0	0	0	0	0	0
	総合化学院	博士	台湾	国立台湾大学	工学院	H28.10.20	派遣	0	0	1	0	0	0	0
	農学院	博士	フィリピン共和国	フィリピン大学		H29.8.10	受入	-	0	0	0	0	0	0
	農学院	博士	フィリピン共和国	フィリピン大学		H29.8.10	派遣	-	1	0	0	0	0	0
	工学院	博士	ロシア連邦	太平洋国立大学	建築デザイン研究科	H29.10.25	受入	-	0	0	0	0	0	0
	工学院	博士	ロシア連邦	太平洋国立大学	建築デザイン研究科	H29.10.25	派遣	-	0	1	0	0	0	0
	農学院	博士	タイ王国	カセサート大学	農学研究科	H30.2.27	受入	-	0	1	0	0	0	0
	農学院	博士	タイ王国	カセサート大学	農学研究科	H30.2.27	派遣	-	0	0	0	0	0	0
	獣医学院	博士	イギリス	エディンバラ大学	獣医学部	H30.3.21	受入	-	0	0	0	0	0	0
	獣医学院	博士	イギリス	エディンバラ大学	獣医学部	H30.3.21	派遣	-	0	0	0	0	0	0
	生命科学院	博士	フランス共和国	パリ市立工業物理化学高等専門大学		H30.3.26	受入	-	0	0	0	0	0	0
	生命科学院	博士	フランス共和国	パリ市立工業物理化学高等専門大学		H30.3.26	派遣	-	0	0	0	0	0	0
	教育学院	博士	中華人民共和国	北京師範大学		H30.9.30	受入	-	-	0	0	0	0	0
	教育学院	博士	中華人民共和国	北京師範大学		H30.9.30	派遣	-	-	0	0	0	0	0
	環境科学院	博士	オーストラリア連邦	シドニー大学		R1.8.6	受入	-	-	-	1	0	0	0
	環境科学院	博士	オーストラリア連邦	シドニー大学		R1.8.6	派遣	-	-	-	0	0	0	0
	国際感染症学院	博士	タイ王国	タマサート大学	公衆衛生学部	R1.9.20	受入	-	-	-	0	0	0	0
	国際感染症学院	博士	タイ王国	タマサート大学	公衆衛生学部	R1.9.20	派遣	-	-	-	0	0	0	0
	医理工学院	博士	カザフスタン共和国	アルファラビ・カザフ国立大学	理工学研究科	R1.12.28	受入	-	-	-	0	0	0	0
	医理工学院	博士	カザフスタン共和国	アルファラビ・カザフ国立大学	理工学研究科	R1.12.28	派遣	-	-	-	0	0	0	0
	医理工学院	博士	モンゴル国	モンゴル国立大学	応用科学・工学部	R2.1.22	受入	-	-	-	0	0	0	0
	医理工学院	博士	モンゴル国	モンゴル国立大学	応用科学・工学部	R2.1.22	派遣	-	-	-	0	0	0	0

※コチュテル・プログラムとは、北海道大学と外国の大学との間で協定などを締結し、各大学の博士（後期）課程に在籍する学生に対し、各大学の教員が計画的にそれぞれ原則1年以上の研究指導を行うプログラムをいう。

(8) 北海道大学：可視化項目⑨ 5/7

国際交流状況に関するダッシュボードは、ダイジェスト版には含まれておらず、詳細版のみの公開となっている。国際交流協定の締結状況や、研究者等交流状況に関するダッシュボードの7種類が公開されている。各ダッシュボードの可視化項目について下記に説明する。

ダッシュボード名	可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
海外ラーニング・サテライト事業 ※の実施状況	派遣学生数、参加学生数、および実施事業数	- 派遣学生数、参加学生数についてそれぞれの経年の推移を可視化 - 実施事業数について、折れ線グラフで経年の推移を可視化	年度別 研究種目別	学内データ
	派遣学生数	派遣学生数について、事業責任者所属部局別の割合を可視化		
	実施事業数	実施事業数について、事業責任者所属部局別の割合を可視化		



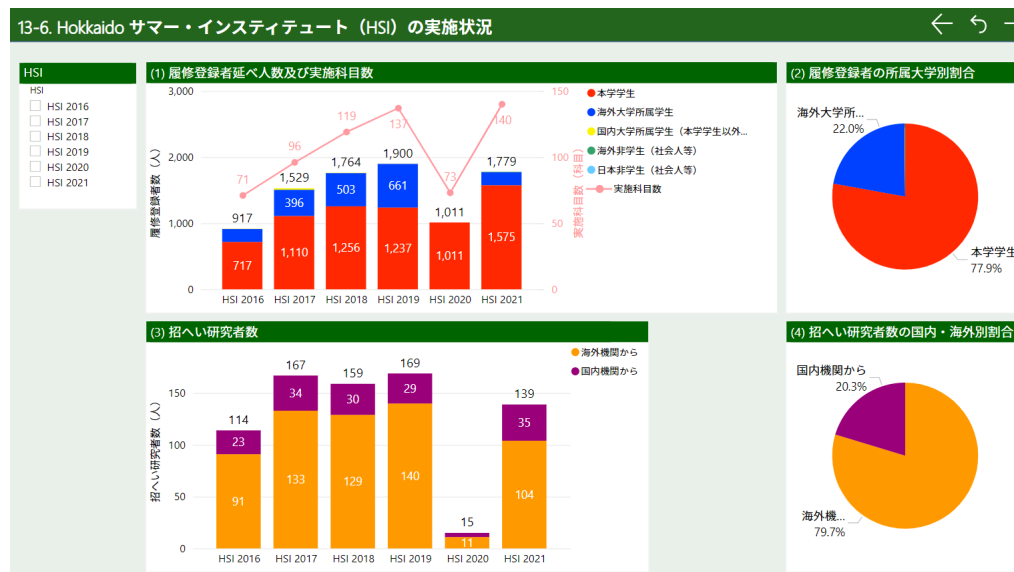
※海外ラーニング・サテライト事業は、「北海道大学の教員が海外大学、コンソーシアム等との間で定期的かつ継続的に実施する共同教育プログラムであり、北海道大学学生の派遣（年度ごとには県と受入を交互に行うプログラムを含む。）を実施するもの」を対象とした事業である。

出典 北海道大学ファクトブック【学外版】 <https://ir.general.hokudai.ac.jp/reports/r04factbook.html>

(8) 北海道大学：可視化項目⑨ 6/7

国際交流状況に関するダッシュボードは、ダイジェスト版には含まれておらず、詳細版のみの公開となっている。国際交流協定の締結状況や、研究者等交流状況に関するダッシュボードの7種類が公開されている。各ダッシュボードの可視化項目について下記に説明する。

ダッシュボード名	可視化項目	情報発信の内容	表示方法		元データ
Hokkaidoサマー・インスティテュート※の実施状況	履修登録者延べ人数及び実施科目数	- 履修登録者の内訳を示し、経年の推移を可視化 - 実施科目数について、折れ線グラフで経年の推移を可視化	実施 年度	テーブル	学内 データ
	履修登録者の所属大学別割合	所属大学別の割合を可視化		円グラフ	
	招へい研究者数	招へい研究者数について海外機関、国内機関からの内訳を示し、経年の推移を可視化		棒グラフ	
	招へい研究者数の国内・海外別割合	招へい研究者数について海外機関、国内機関からの割合を可視化		円グラフ	



※Hokkaidoサマー・インスティテュートは、北海道大学に世界の第一線で活躍する優れた教育研究業績や活動歴を有する研究者を招へいし、北海道大学教員と共同で教育活動を実施するプログラムをいう。

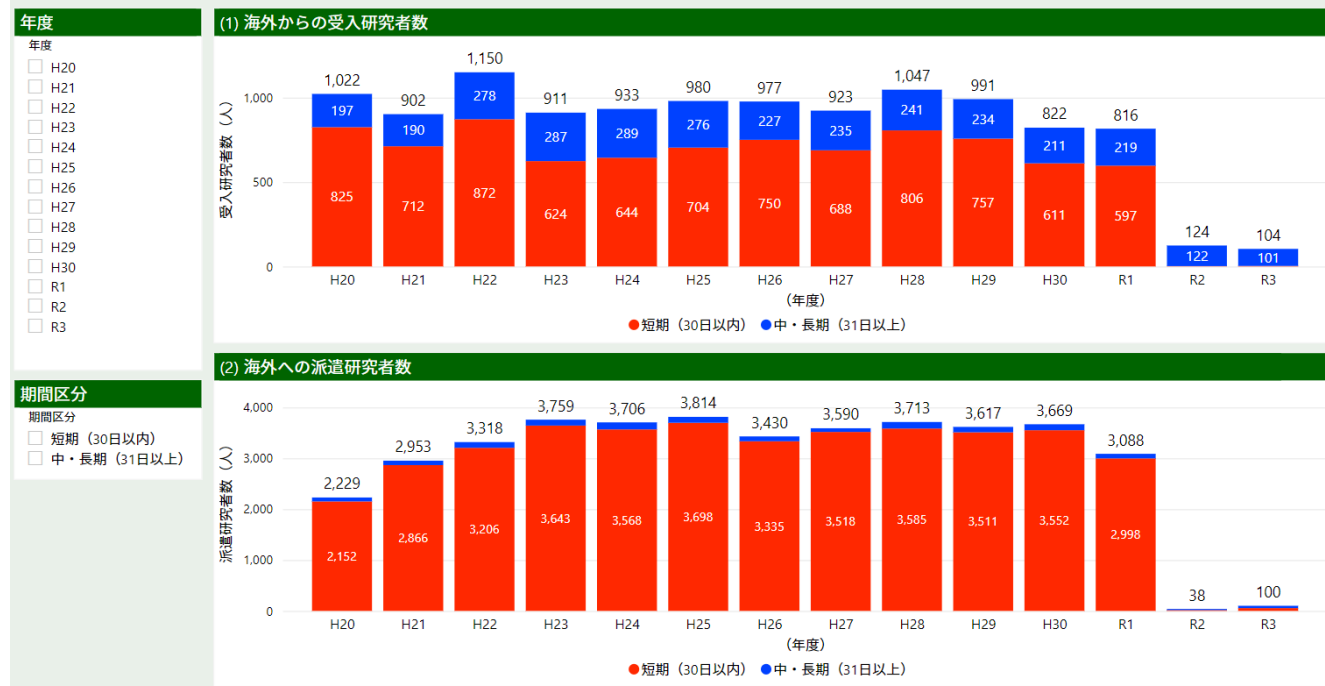
出典 北海道大学ファクトブック【学外版】 <https://ir.general.hokudai.ac.jp/reports/r04factbook.html>

(8) 北海道大学：可視化項目⑨ 7/7

国際交流状況に関するダッシュボードは、ダイジェスト版には含まれておらず、詳細版のみの公開となっている。国際交流協定の締結状況や、研究者等交流状況に関するダッシュボードの7種類が公開されている。各ダッシュボードの可視化項目について下記に説明する。

ダッシュボード名	可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
研究者等交流状況	海外からの受入研究者数	・ 短期、中・長期の内訳を示し、経年の推移を可視化	年度、機関区分	棒グラフ
	海外への派遣研究者数			

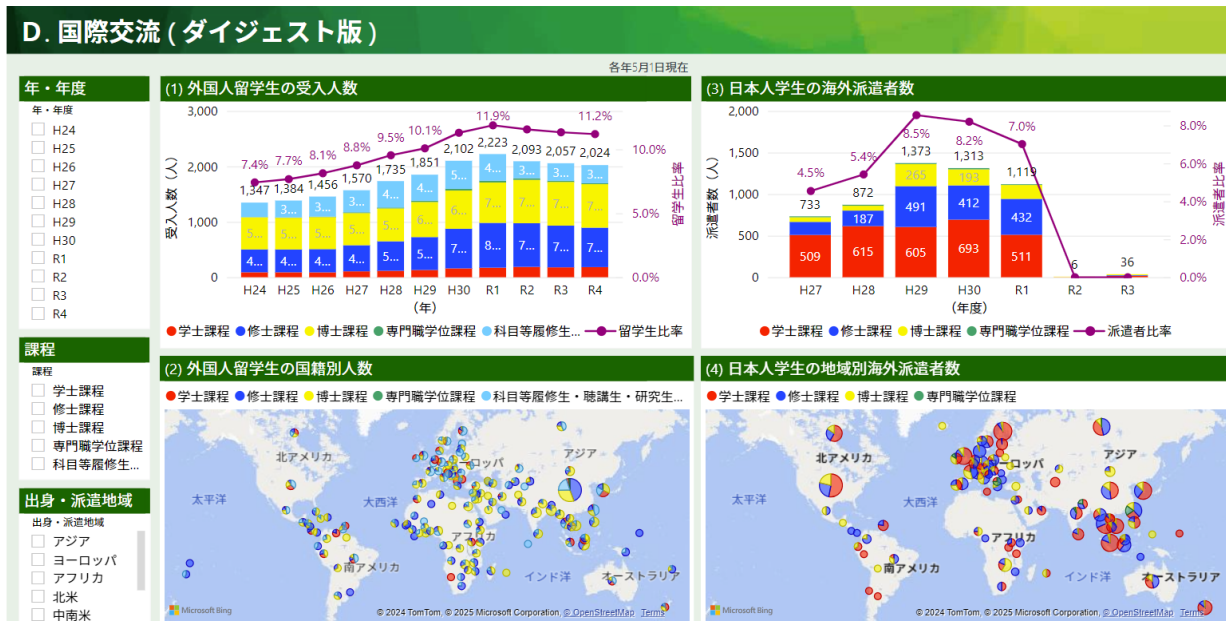
14. 研究者等交流状況



(9) 北海道大学：可視化項目^⑩ 1/3

学生受け入れ状況に関するダッシュボードは、ダイジェスト版と詳細版が公開されているが、ダイジェスト版で掲載されているグラフのうち、(1)外国人留学生の受入人数、(2)外国人留学生の国籍別人数、(3)日本人学生の海外派遣者数、(4)日本人学生の地域別海外派遣者数は、詳細版からの抜粋となっている。

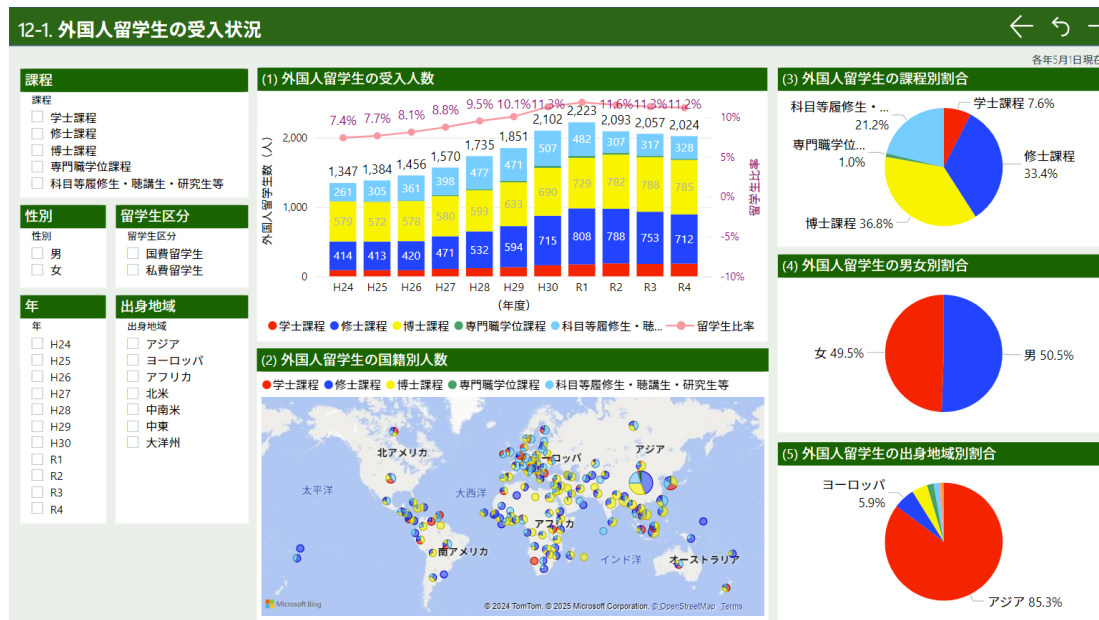
可視化項目	情報発信の内容	表示方法		元データ
外国人留学生の受入人数	- 外国人留学生の課程の内訳を表示して経年の推移を可視化 - 留学生比率について、折れ線グラフで経年の推移を可視化	年・年度	棒グラフ(縦) 折れ線グラフ	学内データ
外国人留学生の国籍別人数	国別に学生の過程の内訳を円グラフで示し、世界地図上に可視化	課程	地図	
日本人学生の海外派遣者数	- 日本人学生の課程の内訳を表示して経年の推移を可視化 - 派遣者比率について、折れ線グラフで経年の推移を可視化	出身・派遣 地域	棒グラフ(縦) 折れ線グラフ	
日本人学生の地域別海外派遣者数	国別に学生の過程の内訳を円グラフで示し、世界地図上に可視化		地図	



(9) 北海道大学：可視化項目⑩ 2/3

学生受け入れ状況に関する詳細版のダッシュボードの1ページ目では、ダイジェスト版で掲載されていたグラフに加えて、外国人留学生の課程別割合、外国人留学生の男女別割合、外国人留学生の出身地域別割合をそれぞれに表示したグラフが掲載されている。詳細版には、ダイジェスト版で含まれていなかった性別、留学生区分の絞り込み機能が追加されている。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
外国人留学生の受入人数	外国人留学生の課程の内訳を表示して経年の推移を可視化 留学生比率について、折れ線グラフで経年の推移を可視化	課程 性別 年	棒グラフ(縦) 折れ線グラフ
外国人留学生の国籍別人数	国別に学生の過程の内訳を円グラフで示し、世界地図上に可視化	留学生区分	地図
外国人留学生の課程別割合	外国人留学生について、課程別の割合を可視化	出身地域	円グラフ
外国人留学生の男女別割合	外国人留学生について、男女別の割合を可視化		円グラフ
外国人留学生の出身地域別割合	外国人留学生について、出身地域別課程別の割合を可視化		円グラフ

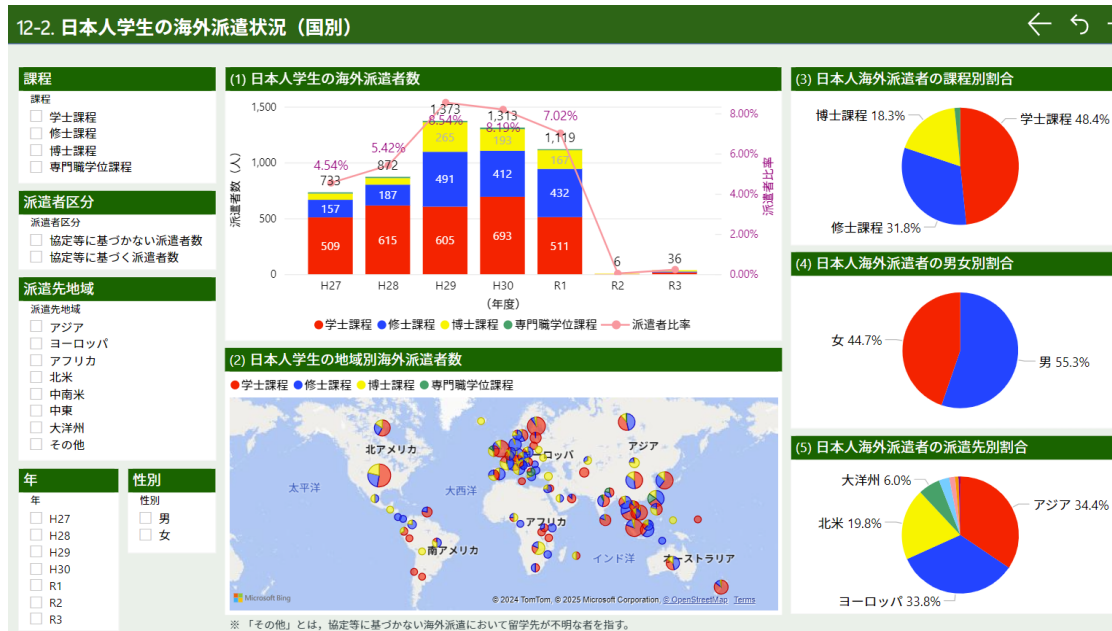


出典 北海道大学ファクトブック【学外版】 <https://ir.general.hokudai.ac.jp/reports/r04factbook.html>

(9) 北海道大学：可視化項目⑩ 3/3

学生受け入れ状況に関する詳細版のダッシュボードの1ページ目では、ダイジェスト版で掲載されていたグラフに加えて、日本人海外派遣者の課程別割合、日本人海外派遣者の男女別割合、日本人海外派遣者の派遣先別割合をそれぞれに表示したグラフが掲載されている。詳細版には、ダイジェスト版で含まれていなかった性別、派遣者区分の絞り込み機能が追加されている。

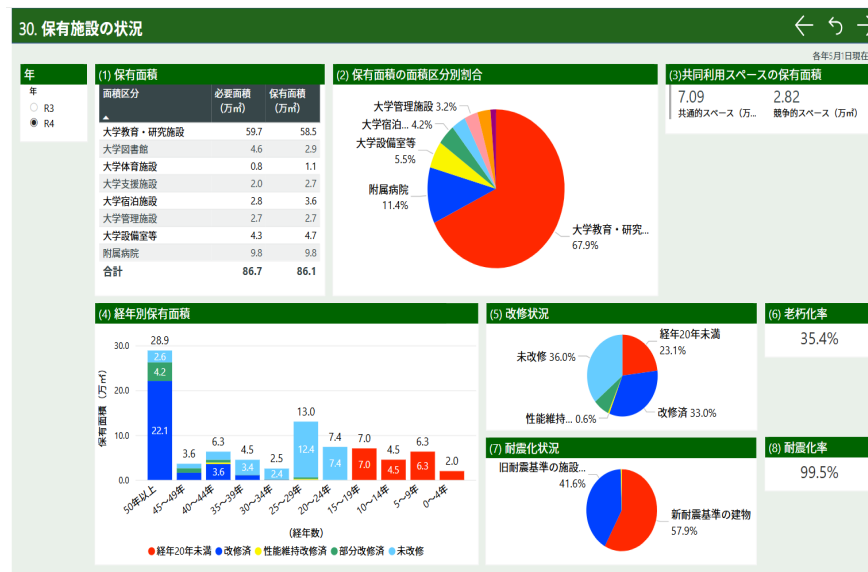
可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
外国人留学生の受入人数	外国人留学生の課程の内訳を表示して経年の推移を可視化	課程 派遣者区分 派遣先地域 年 性別	学内データ
外国人留学生の国籍別人数	留学生比率について、折れ線グラフで経年の推移を可視化		
外国人留学生の課程別割合	国別に学生の過程の内訳を円グラフで示し、世界地図上に可視化		
外国人留学生の男女別割合	日本人海外派遣者について、課程別の割合を可視化		
外国人留学生の出身地域別割合	日本人海外派遣者について、派遣先地域別課程別の割合を可視化		



(10) 北海道大学：可視化項目⑫⑬ 1/3

施設・設備の利用状況や資料の利用・提供・整備状況に関するダッシュボードは、ダイジェスト版には含まれておらず、詳細版のみの公開となっている。保有施設の状況に関するダッシュボードと、学内施設に関するダッシュボードの2種類が公開されている。

ダッシュボード名	可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
保有施設の状況	保有面積	• 大学が保有する各施設について、それぞれの必要面積と保有面積について示されている	テーブル	学内データ
	保有面積の蓄積区分別割合	• 保有施設について、保有面積程別の割合を可視化	円グラフ	
	共同利用スペースの保有面積	• 選択した年度における共同利用スペースの保有面積を可視化	数値	
	経年別保有面積	• 保有面積について、改修状況の内訳を表示して経年の推移を可視化	棒グラフ	
	改修状況	• 保有面積について、改修状況別の割合を可視化	円グラフ	
	老朽化率	• 選択した年度における施設の老朽化率を可視化	数値	
	耐震化状況	• 保有面積について、耐震化状況別の割合を可視化	円グラフ	
	耐震化率	• 選択した年度における施設の耐震化率を可視化	数値	

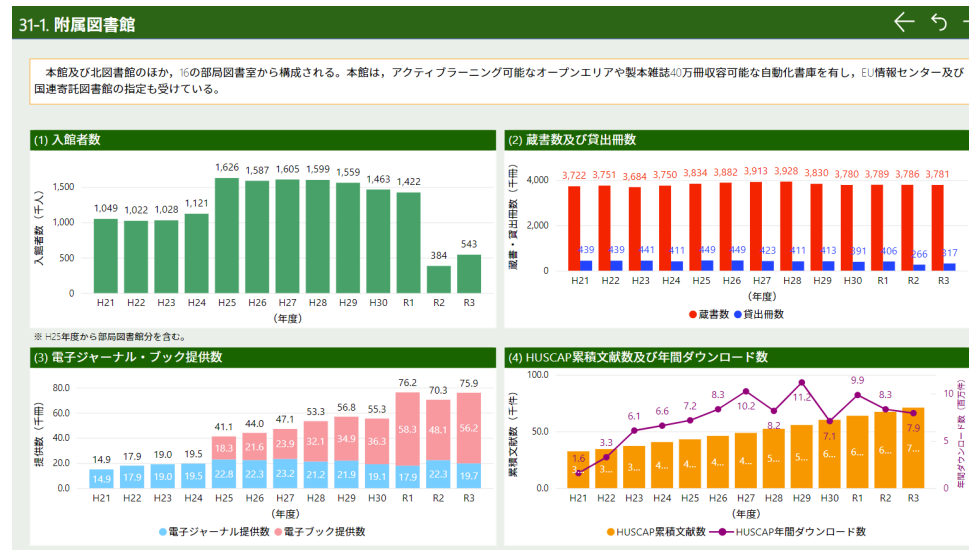


出典 北海道大学ファクトブック【学外版】 <https://ir.general.hokudai.ac.jp/reports/r04factbook.html>

(10) 北海道大学：可視化項目⑫⑬ 2/3

施設・設備の利用状況や資料の利用・提供・整備状況に関するダッシュボードは、ダイジェスト版には含まれておらず、詳細版のみの公開となっている。保有施設の状況に関するダッシュボードと、学内施設に関するダッシュボードの2種類が公開されている。

ダッシュボード名	可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
学内施設 (付属図書館)	入館者数	入館者数について、経年の推移を可視化	棒グラフ(縦)	学内 データ
	蔵書数及び貸出冊数	蔵書数・貸出冊数についてそれぞれの経年の推移を可視化	円グラフ	
	電子ジャーナル・ブック提供数	電子ジャーナル・ブック提供数について、電子ジャーナルと電子ブックの内訳を表示して経年の推移を可視化	棒グラフ(縦)	
	HUSCAP※累計文献数及び年間ダウンロード数	- HUSCAP累計文献数について経年の推移を可視化 - HUSCAP年間ダウンロード数について、折れ線グラフで経年の推移を可視化	棒グラフ(縦) 折れ線グラフ	



※HUSCAPとは、附属図書館による電子コレクション「HUSCAP」(Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers)を指す。

出典 北海道大学ファクトブック【学外版】 <https://ir.general.hokudai.ac.jp/reports/r04factbook.html>

(10) 北海道大学：可視化項目⑫⑬ 3/3

施設・設備の利用状況や資料の利用・提供・整備状況に関するダッシュボードは、ダイジェスト版には含まれておらず、詳細版のみの公開となっている。保有施設の状況に関するダッシュボードと、学内施設に関するダッシュボードの2種類が公開されている。

ダッシュボード名	可視化項目	情報発信の内容	表示方法	元データ
学内施設 (大学文書館)	施設に関連する写真	・ 施設の外観、施設内にある資料（札幌農学校時代の文書）、施設内観についての写真を掲載	写真	学内 データ
	利用者数	・ 利用者数についてそれぞれの経年の推移を可視化	棒グラフ(縦)	
	受入資料及び利用資料数	・ 受入資料及び利用資料数について、経年の推移を可視化		

31-2. 大学文書館

北海道大学に関する歴史的な公文書及び各種資料を収集・整理・保存・公開し、同時に北海道大学史の調査・研究を行って、その成果を刊行物・展示・資料見学会・リファレンス等を通じて学内外に発信している。本学の140年に及ぶ歴史を知り、学び、調べるための拠り所の役割を担っている。

外観



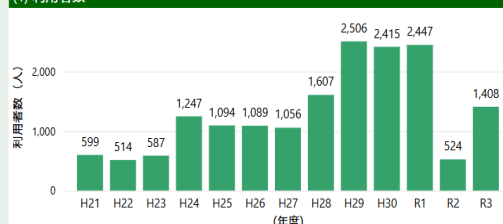
札幌農学校時代の文書



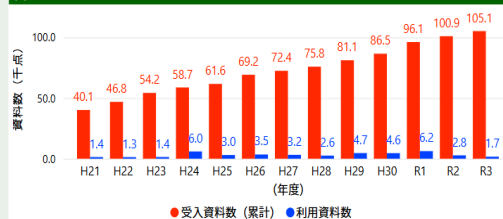
1階展示ホール



(1) 利用者数



(2) 受入資料数及び利用資料数



【効果】

追加で他の学内施設の4施設※について、大学文書館と同じ粒度で可視化されていた。

※総合博物館、植物園、動物医療センター、インフォメーションセンター